



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

調査への協力に感謝します

はやの やすき
早野安全さんに農林水産大臣から感謝状

10月18日、「統計の日」を記念して、早野安全さん(下小谷)に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

この感謝状は、農林水産省が実施する農林水産統計調査に長年にわたり協力した人に贈られるもので、早野さんが農業経営統計調査に15年以上協力したことにより贈呈されました。

早野さんは、平成11年に農業に従事し始めて、現在は後継者もできていますが、「農業をできる限り続けて、調査にも協力していきたい」と話しました。



感謝状を掲げる早野さん



協定書を掲げがっちり握手を交わす稲美町古谷博町長と西村町長

災害の経験を生かして支援を

いなみ
兵庫県稲美町と災害時相互応援協定

11月18日、町は、兵庫県稲美町と「災害時における相互応援に関する協定」を結びました。

この協定により、どちらかの町が被災した時に、もう一方が、食料など生活必需品の供給や応急復旧活動に必要な職員の派遣などを迅速に行います。

同町からは、熊本地震の際に、避難所運営や家屋被害調査のための職員派遣を受けた実績があり、今回の協定締結となりました。今後、互いに経験を生かした支援が期待されます。

お相撲さんがやって来た

しょうだい
正代関が益城幼稚園を訪問

11月27日、熊本県出身の力士、正代関が、町相撲連盟の役員とともに、益城幼稚園を訪れました。

今回の訪問は、高校時代に合宿をした益城町の相撲場の復旧、高遊原相撲大会の再開に伴うもので、正代関は、「子どもたちと触れ合い、初場所での力の源になりました。国技である相撲を通じて、少しでも復興の力になりたい」と話しました。

同じく熊本県出身である芳東関、肥後ノ城関、井上関も相撲普及のため、町内各小学校を訪問しています。



正代関を囲んで笑顔で記念撮影

Best Smile
今月のベスト笑顔

